

平成 25 年 3 月 12 日

各 位

マネックスグループ株式会社  
代表取締役会長兼社長 CEO 松本 大  
(コード番号 8698 東証第一部)

**トレードステーション社が米国金融情報誌 Barron's のオンライン証券  
ランキングで3年連続「アクティブトレーダー向け」部門の首位獲得  
～取引執行技術、国際投資家部門でも最高評価～**

当社の米国子会社 TradeStation Group, Inc. (所在地: 米国フロリダ州、CEO: Salomon Sredni) およびそのグループ子会社 (あわせて以下「トレードステーション社」) は、米国の投資家向け金融情報誌 Barron's による米国オンライン証券セクターの年間評価ランキングで、3年連続で「アクティブトレーダー向け」部門で首位 (“Best for Frequent Traders”) を獲得しましたので、お知らせいたします。

Barron's (<http://online.barrons.com/>) は米国 Dow Jones 社が週刊で発行する金融情報誌であり、同誌によるオンライン証券の年間評価ランキングは今年で 18 年目の開催となります。今年も Charles Schwab、Fidelity、TD Ameritrade、E\*TRADE、Interactive Brokers などを含むオンライン証券 24 社が評価対象となった中、トレードステーション社は「アクティブトレーダー向け」部門で首位を獲得したほか、「取引執行環境および技術」項目で最高得点を獲得、「国際投資家」部門でも 2 年連続・延べ 3 回目となる最高格付 4 つ星半の評価を受けました。Barron's は総評において、「トレードステーション社はテクニカル分析やプログラムによる自動取引を行いたい顧客には理想的な、驚異的な取引システムを提供しており、顧客が独自の取引環境を構築するためのサポートも充実している。」と評価しています。

これは、トレードステーション社が自社開発してきた株式・先物・オプション・FX 取引のための先進的な取引ツールや顧客サポート・サービスに対する、アクティブトレーダー層からの強い支持を裏づけるものです。

当社グループでは、当社の子会社であるマネックス証券株式会社 (代表取締役社長 CEO 松本 大) が、トレードステーション社との共同開発により 2012 年 11 月に米国株取引システムを一新し、米国株取引サービスでは国内証券 No. 1 の内容となる業界最多銘柄数、業界最長取引時間、主要オンライン証券最安の手数料でのサービスを提供<sup>(注)</sup>しています。引き続きトレードステーション社の技術開発力をグループ内の事業展開において最大限に活用し、投資家の皆様にとって最良の投資環境を実現すべく邁進してまいります。

(注) 2013 年 3 月 11 日時点 マネックス証券株式会社調べ。「国内証券」とは、外資系証券会社を除きます。「主要オンライン証券」とは、株式会社 SBI 証券・カブドットコム証券株式会社・松井証券株式会社・楽天証券株式会社・マネックス証券株式会社をいいます。そのうち、カブドットコム証券株式会社と松井証券株式会社は米国株取引サービスを行っていません。

以上

【お問合せ先】

マネックスグループ株式会社  
経営管理部 高崎・社長室 町田 電話 03-4323-8698